

第5学年 外国語科学習指導案

令和2年9月16日（水）第4校時

- 1 教材名 「NEW HORIZON 5」
- 2 単元名 「Unit5. Where is the post office? 場所をたずねたり答えたりしよう」
- 3 単元について

(1) 教材観

本単元では、自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりすることを目標としている。また、位置関係を示す **by**、**in**、**on**、**under** の前置詞についても理解を深める。

前置詞は、絵の中から物の位置を聞き取って○で囲んだり、実際に具体物を操作したりすることを通して理解させる。道案内では、**Word Link** で慣れ親しんだ語句や表現を手掛かりにやり取りを聞き、それをもとに実際に児童どうしでロールプレイを行う。様々な場所への行き方を尋ねたり、答えたりして、語彙や表現の定着を図りたい。最後に「町にあったらよいカード」を完成させ、そのカードを使って、自分のオリジナルの町に見立てて道案内の活動を行う。

児童一人一人が相手意識をもって積極的にコミュニケーションを図り、**Where is～**の実用性やコミュニケーションを取ることの楽しさを感じさせたい。

(2) 児童の実態

【児童の意識調査】 調査年月日：令和2年 月 日（ ） 調査人数： 人

① 英語は好きですか。

とても好き	好き	まあまあ好き	あまり好きではない
人（ %）	人（ %）	人（ %）	人（ %）

② 英語をもっと勉強したいと思いますか。

とても思う	思う	まあまあ思う	あまり思わない
人（ %）	人（ %）	人（ %）	人（ %）

③ 英語の授業は好きですか。

とても好き	好き	まあまあ好き	あまり好きではない
人（ %）	人（ %）	人（ %）	人（ %）

④ 英語の授業は難しいと感じますか。

難しくない	あまり難しくない	やや難しい	難しい
人（ %）	人（ %）	人（ %）	人（ %）

⑤ Eタイムの時間は楽しいですか。

とても楽しい	楽しい	まあまあ楽しい	つまらない
人（ %）	人（ %）	人（ %）	人（ %）

⑥ 今、英語でどんなことができますか。

話すこと	聞くこと	読むこと	書くこと	そのほか
人（ %）	人（ %）	人（ %）	人（ %）	人（ %）

⑦ これから英語でどんなことができるようになりたいですか。

アニメやドラマを見る	人 (%)	新聞を読む	人 (%)
歌を歌う	人 (%)	手紙を書く	人 (%)
映画を見る	人 (%)	手紙を読む	人 (%)
会話をする	人 (%)	日記を書く	人 (%)
テレビや動画を見る	人 (%)	本や絵本を読む	人 (%)
自己紹介をする	人 (%)		

本学級の児童は、活発的な児童が多く様々な活動に対し積極的に取り組む姿が見られる。また、自分の課題に対して真剣に取り組める児童も多い。しかし、自信がないものに対しては消極的になりがちで、会話をしたり発表したりすることが苦手である。外国語科の授業では、不安を取り除いて自信をもって会話をしたり発表したりできるようにさせたいと考える。

外国語活動については、2年生の頃から「E タイム」を行い、低学年から英語に慣れ親しむ活動を行っている。また、3年生・4年生では月に2回の外国語活動に取り組み、英語を聞くことや話すことには慣れ親しんできた。7月に行ったアンケート調査では、「英語は好きですか」という質問に対し、「とても好き」「好き」「まあまあ好き」と肯定的に答えた児童は 人中 人。「英語をもっと勉強したいと思いますか」という質問に対しては、「とても思う」「思う」「まあまあ思う」と答えた児童は 人中 人で、全ての児童が必要感を感じていた。この結果から、英語に対して必要感を感じ、学習に対しても肯定的なことが分かった。また、 以上が会話ができるようになりたいと答えた一方で、普段の様子からは、インプットが不足しているのか話すことに対しては消極的な児童が見られる。そこで、道を尋ねる活動を段階的に行い、自信をもって友達と会話をできるようにさせたい。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、次の点に配慮しながら授業を進めていく。

① ALT の発音を聞いて、繰り返し練習を行う。

アンケートの結果からもわかるように、話すことに自信がないことで英語に対して消極的になってしまう児童が多い。今回の単元では、初めて耳にしたり普段使う機会があまりなかったりする単語が多く出てくる。そこで、ALT の正しい発音を聞いて、何度も練習を繰り返し行うことで、英語に対する抵抗感や不安感を減らしていくようにする。また、デジタル教材の活用も行い、リスニング力の向上を図るとともに、リズムにのって英語を発音する「Let's chant」などを使い、楽しみながら発音の練習ができるようにする。

② スモールトークを通して、学習のめあてを明確にさせ、見通しをもたせる。

毎回の授業で、既習事項の表現や語句、本時で使う英文などを含めたスモールトークを行うことで、学習の見通しをもたせる。知っている単語を耳にすることで、児童が分かる会話の中から学習に対して興味をもち、意欲付けを行う。また、スモールトークを本時の Activity にも応用することで、繰り返し聞くことにより、スムーズに活動に取り組むことができるようにする。

③ 自分の考えを伝え合う活動を取り入れる。

毎回の授業で学習したことをペアや教師、ALT に表現する機会を取り入れる。本単元でも、自分の考えたオリジナルの地図を相手や ALT に伝えることを目標として設定した。毎回表現する機会をとることによって発表する自信をつけ、次はやってみようという意欲にもつなげる。ただ単語を覚えたり

英文を読んだりするという活動にならないよう、誰かに伝えるという目的意識をもって行い、ジェスチャーや表情に気をつかいながら進めていく。

4 研究テーマとの関わり

コミュニケーションを図る楽しさを知り
外国語を用いて進んで自分の考えや気持ちを表現できる子の育成

目指す児童像

「コミュニケーションを図る楽しさを知り外国語を用いて進んで自分の考えや気持ちを表現できる子」

【仮説①】

外国語を学ぶ楽しさを味わうことができれば、外国語活動に意欲的に取り組むことができるであろう。

- ・授業の初めに指導者とALTでSmall Talkを行い、続けて本時のめあてを確認することで、学習を通してどのようなことができるようになるか見通しをもって学習できるようにする。
- ・始めは道案内の表現に親しむための活動を多く取り入れていく。活動内容も徐々にレベルを上げていき、段階的に場所を尋ねたり、答えたりする表現を身に付けるようにしていく。後半では、地図を使い友達を道案内する活動を取り入れ、最後の「オリジナルタウンで道案内しよう」の活動に自信を持って取り組めるようにする。

【仮説②】

自分の思いや考えを話す活動を取り入れることで、自分の考えや気持ちを表現できる力が育つだろう。

- ・「道案内の表現」を段階的にインプットさせ、児童が自信をもって自分の考えを表現できるようにする。
- ・「道案内の表現」を使ったペア活動を取り入れることで、自分の気持ちや考えが伝わる楽しさを味わわせるようにする。

5 単元目標

- ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり行ったりすることができる。また、簡単な語句を書き表すことができる。【知識及び技能】
- ・道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。【思考力、判断力、表現力等】
- ・他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。【学びに向かう力、人間性等】

6 言語材料

○Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn right/left (at the ~ corner). It's in/by/on/under~.

You can see it on your left/right

○道案内 (go, straight, turn, right, left, block, see)

位置 (by, in, on, under)

日常生活 (ball, bat, racket, bag, plastic bag, basket, box, cup, watch, clock, book, textbook, comic book, computer, calendar, map, picture, umbrella, present, treasure, desk, chair, wheelchair, table, bath, bed, wall, window)

建物 (house, elementary school, junior high school, park, library, museum, city hall, hospital, bus stop, station, police station, fire station, gas station, post office, bookstore, convenience store, department store, restaurant, supermarket, flower shop, castle, shrine, temple, amusement park, aquarium, stadium, zoo, bridge, street)

7 単元計画 (5 時間) 本時 6 / 6

時	目標 (◆) と主な活動(【 】、○)【 】 誌面化されている活動	◎評価の観点 (方法)
1	<p>◆探し物がどこにあるかたずねる表現を知ろう。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT と担任が「○○はどこですか」という表現を用いてやりとりする。 <p>○位置と日常生活の単語を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語を発音する際には、必ず指で指しながら発音させる。 <p>○探し物を尋ねる表現と答える表現を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Where is ~?It' s by/on/in/under~. の表現を知る。 <p>【Let' s Listen】 p48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて探し物に○をつける。 ・Where is ~?の表現に探し物を当てはめ発音する。 	<p>◎場所や位置の尋ね方や答え方などについて、聞きとることができる。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>
2	<p>◆探し物がどこにあるかたずねる表現を使い、探し物がどこにあるかを尋ねあおう。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT と担任が「○○はどこですか」という表現を用いてやりとりする。 <p>○位置と日常生活の単語、探し物を尋ねる表現を復習する。</p> <p>【Let' s try】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになって探し物がどこにあるのかを尋ねあう。 	<p>◎場所や位置の尋ね方や答え方を用いてお互いの情報や考えを伝え合うことができる。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>

3	<p>◆道案内のやりとりや建物の発音に気付こう。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT と担任が道案内の表現を用いてやりとりする。 <p>○建物と道案内の単語を知る。</p> <p>【Let' s chant】 p47</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音に合わせて声を出す。 <p>【Starting out】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、それぞれの道順をなぞる。 <p>【Let's watch and think】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像や音声を視聴し、空欄に答えを記入する。 	<p>◎道案内の表現を理解し、道順をなぞることができる。</p> <p>〈教科書の点検・振り返りカード〉</p>
4	<p>◆場所を訪ねたり、答えたりしてみよう。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT と担任が道案内の表現を用いてやりとりする。 <p>【Let' s chant】</p> <p>【Let' s Listen】 p49</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面の地図記号を確認する。 ・音声を聞き、3 つの選択肢の正しいものに○をつける。 <p>【Let' s try】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所を決め、道案内を行う。 	<p>◎場所を尋ねたり、答えたりすることができる。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>
5	<p>◆道案内できるようになろう。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT と担任が道案内の表現を用いてやりとりする。 <p>【Let' s chant】</p> <p>【Step 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図上にあっという間なところを思い、道案内し合う。 	<p>◎あつたらしい場所について、地図を使って伝え合うことができる。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>
6	<p>◆オリジナルタウンで道案内しよう。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT と担任が道案内の表現を用いてやりとりする。 <p>【Let' s chant】</p> <p>【Step 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルタウンにあつたらしいところを思い、道案内し合う。 	<p>◎あつたらしい場所について、オリジナルの地図を使って道案内することができる。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>

8 本時の目標

○オリジナルタウンマップにあったらいい場所を考え、そこまでの道のりを道案内することができる。

9 本時の展開 (6 / 6 時)

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価	準備物
3分	○Greeting	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をする。 ・曜日、月、日付、天気、時間、季節の確認をする。 	
4分	○Animals Jingle ・Jingle を言う。 ・Jingle quiz を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行いながら声を出させ、学習に意欲的に入れるようにする。 ・Jingle quiz を出し、答えをリピートさせる。 	
4分	○Small Talk ・指導者の話を聞いて、おおよその内容を推測する。 ・指導者の質問に答えたり、他の児童が答えるのを聞いたりして、その意味を推測する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が聞き取りやすいように、ゆっくりと話す。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>T1: Excuse me? T2: Yes? T1: Where is the stadium? T2: Go straight for three blocks. Turn right. Go straight for two blocks. You can see it on your left. T1: Thank you. T2: You're welcome.</p> </div>			
2分	○本時のめあてを知る。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>オリジナルタウンで道案内しよう。</p> </div>			
3分	○Let's Chant 【Turn right.】 ・チャンツを行う。		

5分	<p>○語句・表現の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語を入れ、場所を尋ねたり、答えたりする言い方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて発音させ、後の活動で自信をもって発音できるようにさせる。 	<p>Picture Dictionary</p>
10分	<p>○Step 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルタウンにあったらいいなと思う場所を考え、ペアで道案内し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習を兼ね、後の活動で自信をもって発音できるようにさせる。 ・いろいろな単語を当てはめることで、場所を尋ねたり、答えたりする言い方を定着させる。 ・デモンストレーションを行い、活動のイメージを持たせるようにする。 ・機械的な会話にならないよう、表情や反応を大切にさせる。 	<p>オリジナルタウンマップ</p> <p>町にあったらよい場所カード</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>T1: Excuse me?</p> <p>T2: Yes?</p> <p>T1: Where is the stadium?</p> <p>T2: Go straight for three blocks. Turn right. Go straight for two blocks. You can see it on your left.</p> <p>T1: Thank you.</p> <p>T2: You're welcome.</p> </div>			
11分	<p>○Let's challenge</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTを道案内する。 	<p>◎あったらいい場所について、オリジナルの地図を使って道案内することができる。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>	
3分	<p>○Review</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに本時の振り返りを記入する。 <p>○Greeting</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発表に合わせマップ上の駒を動かす。 ・挨拶をする。 ・本時の頑張りをねぎらい、次回の予告を行う。 	<p>振り返りカード</p>

It's Wednesday
September 16th
It's about (time).
It's sunny.
It's fall.

Animals Jingle

オリジナルタウンで道案内しよう

Where is the stadium?
Go straight for three blocks.
Turn right.
Go straight for two blocks.
You can see it on your left.

オリジナルタウンマップ